

大会名 Competition	第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 富山県予選		場所 Place	南砺市福野体育館
NO. 2	日時	2024年11月3日	12:00	

高岡工芸

富山商業



71 14 1Q 14
13 2Q 16
18 3Q 15
26 4Q 6
○ OT ●

Crew Chief	Umpire 1	Umpire 2
山本 達也	上田 遼馬	嘉志摩 有希

Table Officials
富山県立福岡高等学校

高岡工芸

NO	PL-NO	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
1	4	× 皆川 航介	16	2	3	4	1
2	5	/ 大崎 楓	0	0	0	0	0
3	6	/ 樋掛 圭也	3	1	0	0	0
4	7	× 前田 晴翔	29	2	10	3	1
5	8	/ 齋藤 大馳	0	0	0	0	0
6	9	/ 伊藤 晃	2	0	1	0	2
7	10	神林 慶	4	0	1	2	1
8	11	× 福沢 一真	9	0	3	3	3
9	12	宮西哉真仁	2	0	1	0	0
10	13	南本 佳利	0	0	0	0	0
11	14	× 高桑 和馬	4	1	0	1	2
12	15	森崎 悠人	0	0	0	0	0
13	16	× 丹波 和也	2	0	1	0	1
14	17	江尻 翠流	0	0	0	0	0
15	18	高谷 慶次	0	0	0	0	0
コーチ 白岩 玲祐							
Aコーチ 堀田 尚之							
合計			71	6	20	13	11

富山商業

NO	PL-NO	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
1	4	/ 新木 敬大	8	0	4	0	5
2	5	× 岡本 樹	7	1	2	0	1
3	6	/ 塩田 涼斗	7	1	2	0	2
4	7	× 萩中 蒼暉	18	2	4	4	2
5	8	× 藤井 誠也	0	0	0	0	5
6	9	堀井 晃心郎	0	0	0	0	0
7	10	/ 飯田 春希	0	0	0	0	1
8	11	× 松田 禪生	11	1	4	0	5
9	12	/ 浅野 模斗	0	0	0	0	1
10	13	× 刀野 翔	0	0	0	0	0
11	14	/ 松本 僚太	0	0	0	0	0
12	15	富田 一颯	0	0	0	0	0
13	16	笹岡 蒼太	0	0	0	0	0
14	17	志鷹 陽	0	0	0	0	0
15	18	村椿 琉那	0	0	0	0	0
コーチ 荒川 和樹							
Aコーチ 坂本 康耀							
合計			51	5	16	4	22

戦評

※ ×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Qはお互いマンツーマンでスタート。序盤工芸は#7のミドルレンジや華麗なドライブでスコアを重ねていく。しかし富山商業も激しいディフェンスから高岡工芸のミスを誘い堅実にスコアし、互いに譲らず14-14の同点で1Qを終えた。

2Qも互いに激しいDFでスコアのできない時間帯が続く。膠着状態が続いていたが残り5分あたりから両チームのスコアが動き始める。富山商業は#11のドライブ、#5と#6スリーポイントシュートで連続得点する。それに対して、高岡工芸は1Qに続き#7がオフェンスを牽引する。一進一退の攻防の中ブザーと同時に富山商業#6がこの日2本目の3ポイントを決め、27-30の高岡工芸が3点リードで試合を折り返す。

後半もマンツーマンでスタート。3Qゾーンプレスを仕掛けた高岡工芸が富山商業のタフショットを誘いリバウンドから得点を重ねる。それに対して富山商業は#7のフリースローやジャンプショットで対抗する。その後富山商業は#5・#4のジャンプショット、#7のスリーポイント、高岡工芸は#7・#4が難しいシュートを決め続けた。取っては取り返す白熱した展開の中45-45で運命の4Qを迎える。

4Qもお互い鍛えられたディフェンスで思うようにスコアが伸びない時間帯が続くが富山商業#11の個人技、高岡工芸は#11のゴール下で得点する。ロースコアな展開になるかと思われたが、この試合ここまで富山商業の厳しいマークに苦しんでいた高岡工芸#4がこの日初のスリーポイントを決めると高岡工芸のペースになった。次のポゼッションでさらに#4がスリーポイントのアンドワンを決め完全に高岡工芸の流れとなる。その後もつかんだ流れを離すことなく#7のスリーポイント、#9のスティールからのレイアップ、#11がフリースローを確実に沈め勝利を決定づけた。

互いに強固なディフェンスを見せた好ゲームだったが、少ないチャンスをモノにし、4Qで突き放した高岡工芸が2年ぶり7度目の優勝を果たした。